

防衛施設庁

補助金不交付問題

久米さん・市議団が防衛庁へ

十二月十九日、広島防衛施設局は岩国市に来て、岩国市が空母艦載機を受け入れないから、来年度の新庁舎建設補助金35億円を財務省に要求しないと通告してきました。

日本共産党市議団は、直ちに仁比聡平参議院議員と連絡を取り、緊急に防衛施設庁へ調査・要請を行なう事になりました。岩国からは久米けいすけ前県議、大西明子、藤本博司両議員が参加。防衛施設庁へは仁比さんだけでなく赤嶺衆議院議員、春名、中林前衆議院議員も合流し、総勢7人の参加で調査・要請行動。防衛施設庁からは施設企画室長補佐の伊藤重樹氏が対応。まず最初にKC-130をグアム、鹿屋にローテーションするから負担軽減というがなにがどのように負担軽減なるのかと尋ねたが根拠は示されませんでした。

又、庁舎補助金は、約束したものではないというが、いつ打ち切るかわからない補助金として岩国市に交付していたのかという追求に「防衛周辺整備法」8条に準じて

申し入れを行なう
日本共産党議員団



市長に責任転嫁

米艦載機受入れ容認派が

問責決議を提出

「井原勝介岩国市長の責任を問う決議」の趣旨は、新庁舎の建設補助金や民間空港再開関連予算が見送られるという事態を招いたことに対する市長としての行政責任は重い」と市長に対して責任を問うと共に反省を促し、現実的な対応をすること「補助金獲得に最善の努力を求めぬ」おおよそこのような内容であります。

今までの慣例を破る

議会議決は、全会一致か圧倒的多数で提出されるのが今までの慣例であったが、今回は異例の形となりました。保守会派を代表して、桑原議員が「決議」を提案し、賛成討論は阿部議員だけ。反対討論は市民クラブ(野口)、リベラル岩国(田村)、清風クラブ(藤井)、公明党(井上)、日

本共産党(山田、藤本、大西)が行ないました。採決は、記名投票で行なわれ、17対15(退場・西村)で可決されました。

反対討論では

日本共産党が正論

傍聴者席は朝10時から

夕方6時まで満席

反対討論では、市長は住民投票や市長選挙の民意に従い、約束を破つたのは政府であり、市長を問責するのは的外れで、市長を問責するということは市民を問責すると同じことだ「責任を問われるのは、防衛施設庁や国だ。」平成15年度から18年度まで合計14億円の補助金が交付され、厚木基地の空母艦載機部隊を受け入れないから補助金は交付しないのは二階に上げて梯子を外す卑怯なやり方だ。議会として国に抗議するべきだなど多くの意見が出されました。

賛成した議員

- 前野弘明 阿部秀樹 縄田忠雄
- 石本 崇 細見正行 味村憲征
- 林 雅之 桑原敏幸 武田正之
- 宗政久明 貴船 斉 中塚一廣
- 藤本泰也 高田和博 藤重健治
- 片山現司 松本久次

今年は統一選挙、参議院選挙が行なわれます 日本共産党の候補者は連日各地で住民の要求実現のため奮闘中

住民投票を

活かす県政へ

久米けいすけ

岩国市議3期 山口県議1期



吉田貞好

国会議員団山口県事務所長



春名なおあき

元衆議院議員

中国、四国、九州、沖縄



明けましておめでとうございます

本年もよろしくお願いたします



古谷清子



藤本ひろし



山田やすゆき



大西明子

十二月議会は、34議員になって初めての議会でした。空母艦載機受入れ派が最終日に「市長問責決議」を提出、17対15で可決されました。

日本共産党市議団の一般質問は、大西議員が愛宕山開発問題、民間空港問題、瓦谷の火災問題、いじめ対策について、山田議員は財政問題など新市建設計画、国道188号渋滞対策、障害者自立支援問題について、古谷議員は地域振興について、農業問題、小規模作業所について、藤本議員は米軍再編、国民保護計画、介護保険の減免制度について、それぞれ行ないました。その一部を紹介します。

今年四月に県議選挙、七月には参議院選挙と大きなたたかいがあります。全力でがんばりますのでよろしくお願いたします。



発行所
日本共産党東部地区
岩国市委員会
岩国市山手町4-3-5
22-2245
1月号

市議会議員
大西 明子
山田 泰之
藤本 博司
古谷 清子

お読みください
日刊 月 2900円
日曜版 月 800円



愛宕山開発地域に米軍住宅はダメ

“見通しのあまさを”

市民に押し付け許せない

愛宕山事業収支見込が、184億、492億円の赤字になると愛宕山地域開発事業見直し検討協議会が試算結果を示しました。

一次造成で中止しても251億円の赤字に、30年かけて完売しても、492億円の赤字と巨額の赤字となる見込みを明らかにしました。

日本共産党市議団は、計画当初から過大な見積もりで、県民・市民に莫大な負担を強いることになるかと反対を強きました。

愛宕山開発事業は滑走路沖合い移転の土取り場として愛宕山から土を運び出すことと連動した宅地開発であり、国策に沿った事業でもありません。これまで、赤字になると思っても、中止できなかった



1月1日白崎八幡で久米さん、吉田さんと市議団4人

日本共産党市議団は、自らの見通しの甘さを棚にあげて、そのつけを、全部岩国市民に押し付けるやり方はまさに悪代官のやり方だと厳しく批判をし、愛宕山を米軍住宅にするのは絶対に許せないと市長の考えを求めました。

市長は市の街づくりの観点からも、又今回の米軍再編案を容認していない状況の中で

米軍再編で

全員協議会が開催

1月26日午後1時より
市議会議員会室

防衛施設庁と広島防衛施設局の担当者が出席。空母艦載機問題で市議会全員協議会が開催されます。

各会派からそれぞれ質問項目を提出しています。

日本共産党市議団は左記の四項目の質問を行ないます。

「原子力空母の交代による条件変更について、厚木基地所属の空母艦載機の駐機場と格納庫について、米軍住宅について(愛宕山開発地域)、基地沖合い移設事業の事業目的に違反しているのではないか。」です。

是非、多くの市民を誘って傍聴しましょう。